# 相対度数と 確率 ドリル④

中1／回数を 見積もる 9問／目標 15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・□に 数を 書く。回数は「およそ 何回」の 数を 整数で 書く。
・選ぶ 問題は 記号を ○ で かこむ。

① 表が 出る 確率の 見積もりが 0.43 の キャップを 300回 投げる。表は およそ 何回？

② 上向きの 確率の 見積もりが 0.62 の 画びょうを 500回 投げる。上向きは およそ 何回？

③ 確率の 見積もりが 0.4 の ことがらを、およそ 200回 起こしたい。何回 投げれば よい？

④ ボタンを 1000回 投げて 表が 380回。この 結果で 見積もると、2500回では 表は およそ 何回？

⑤ ①の キャップを 300回 投げたら 表は 125回。この 結果は？

ア 見積もりと ちがうので おかしい

イ およその 見積もりなので おかしくない

⑥ 上向きの 確率の 見積もりが 0.65 の 画びょうを 400回 投げる。下向きは およそ 何回？

⑦ さいころを 600回 投げて 1の 目が 103回。この 結果から、1の 目が 出る 確率を 見積もると？（小数第2位まで）

⑧ 上向きの 確率の 見積もりが 0.35 の 物を 投げて、上向きを およそ 140回 に したい。何回 投げれば よい？

⑨ 1日 20回ずつ 30日 投げる。表の 確率の 見積もりが 0.45 なら、表は 全部で およそ 何回？

**見直し** □ 答えを らんに 数で 書いた □ 選ぶ 問題は 記号を ○ で かこんだ

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「データの活用」のプリント一覧がひらきます

# 相対度数と 確率 ドリル④【こたえ】

中1／回数を 見積もる 9問／目標 15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・□に 数を 書く。回数は「およそ 何回」の 数を 整数で 書く。
・選ぶ 問題は 記号を ○ で かこむ。

① 表が 出る 確率の 見積もりが 0.43 の キャップを 300回 投げる。表は およそ 何回？

**129**

300 × 0.43 ＝ 129

② 上向きの 確率の 見積もりが 0.62 の 画びょうを 500回 投げる。上向きは およそ 何回？

**310**

500 × 0.62 ＝ 310

③ 確率の 見積もりが 0.4 の ことがらを、およそ 200回 起こしたい。何回 投げれば よい？

**500**

200 ÷ 0.4 ＝ 500

④ ボタンを 1000回 投げて 表が 380回。この 結果で 見積もると、2500回では 表は およそ 何回？

**950**

確率の 見積もり 0.38。2500 × 0.38 ＝ 950

⑤ ①の キャップを 300回 投げたら 表は 125回。この 結果は？

ア 見積もりと ちがうので おかしい

イ およその 見積もりなので おかしくない

129回は およその 回数。125回でも ふしぎではない

⑥ 上向きの 確率の 見積もりが 0.65 の 画びょうを 400回 投げる。下向きは およそ 何回？

**140**

下向きは 1 − 0.65 ＝ 0.35。400 × 0.35 ＝ 140

⑦ さいころを 600回 投げて 1の 目が 103回。この 結果から、1の 目が 出る 確率を 見積もると？（小数第2位まで）

103 ÷ 600 ＝ 0.171… → 0.17

**0.17**

⑧ 上向きの 確率の 見積もりが 0.35 の 物を 投げて、上向きを およそ 140回 に したい。何回 投げれば よい？

**400**

140 ÷ 0.35 ＝ 400

⑨ 1日 20回ずつ 30日 投げる。表の 確率の 見積もりが 0.45 なら、表は 全部で およそ 何回？

**270**

20 × 30 ＝ 600回。600 × 0.45 ＝ 270

丸つけ 回数は 整数で ○。⑦は 0.17 で ○（0.171… を 四捨五入）。
声かけ「回数 × 確率の 見積もり は いくつ？」「下向きの 確率の 見積もりは？」